

緑のセンターだより

NO.118 平成21年1月1日発行

発行元: (財)札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター



外輪山(立葉、曙)

オモト(万年青)
はめでたい植物、縁起の良い植物として古くから新築、移転、誕生などの慶事に飾られたり送られたりしている伝統的植物です。慶長11年、徳川家康が江戸城入城に際し三河よりオモト3鉢を携え、床の間に飾ったと言われ、この頃より大名、旗本、町人の間で愛培する風潮が高まってきたと伝えられています。オモトのみどころは葉の彩り、形状など、「葉芸」と言われるもので、茶道の「わび、さび」の境地に通じるものとも言われます。

オモトはユリ科の常緑多年草で、本州(関東以西)、四国、九州の林下、林縁に自生しており、これらの地域では庭植えもされています。

大雪山(立葉、団)

北海道でも寒さに順応した種類は通年屋外で栽培されています。いることもありますが、葉芸の鑑賞を重んじる愛好家の間では屋内の鉢植えを主体に栽培されています。

オモトは葉の大きさによって大葉(葉長30cm以上)、中葉(葉長15~30cm)、小葉(葉長15cm以下)の3つに分けて扱われています。葉の厚みに

オモト

Rohdea japonica ユリ科 オモト属

よっても厚葉と薄葉に分けられ、どちらにも当たらないものを中葉としています。葉の形には丸葉、細葉、広葉、普通葉、立ち葉、竜葉などがあり、色と模様(葉柄)では曙、縞、覆輪、団、矢筈など、地合では羅紗地、鉄扇地、金剛地、柚肌地、和羅紗地などというように、オモトは葉芸を鑑賞するものですから、葉の状態によって色々な分け方、呼び方がされています。

オモトは長い歴史の中で変異株の選抜、交配などにより数多くの品種が作られ、今では1,000を超える園芸品種があると言われています。

オモトは比較的耐暑性、耐寒性の強い宿根草で、風通し良く、夏は遮光できる場所であればよく育ち、通常は軽石、日向砂などを使い樂鉢で育てます。繁殖は株分け、実生などで行います。(S.Y.)



縞獅子(獅子、縞)



天光冠(羅紗、覆輪)

1月の園芸

このコーナーの園芸作業は札幌地方での目安です。
ここに掲載した以外の作業もたくさんありますので、
ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問い合わせください。

新春特集 **丑**にちなんだ名の植物

【ウシハコベ】 *Stellaria aquatica*

ナデシコ科ハコベ属。湿地、沢沿いに自生する、草丈 20~50cm の多年草。普通のハコベに比べて一段と大型なところからウシハコベの名がつけられた。茎は一般に赤紫色を帶び、花弁は5枚が基部から2裂する。5~8月に開花する。



ウシハコベ

【ウシノケグサ】 *Festuca ovina*

イネ科ウシノケグサ属。別名ギンシンソウ、フェスク(フェスキュー)。全国の比較的乾燥するところに自生する多年草。短い根茎があり、茎葉を叢生し、葉がごく細長で粗剛なことからつけられた和名。この仲間にトールフェスク、31 フェスクなどがあり、家畜用飼料や土手芝に利用される。



ウシノケグサ

【ウシタキソウ】 *Circaeae cordata*

アカバナ科ミズタマソウ属。北海道から九州、台湾に分布。山中の日陰に生える多年草。名の由来は果実を牛のよだれに見立てたもの(東北地方の方言で、よだれを「したき」と言う)。大阪、富山の牛滝山に多く見られたという説もある。細長い単一の茎を直立。葉は5~10cm。花期は夏。



ウシタキソウ

【ウシノシタ】 *Streptocarpus wendlandii*

イワタバコ科ストレプトカルпус属。アフリカに自生する一稔草。大きな葉(長さ 1m ほどにもなる)を単生する。葉の表面にしわがあり牛の舌のように見える。花は管状~漏斗状で5裂し、色は白~紫。鉢花で広く楽しまれるストレプトカルпус(カーパス)の仲間。



ウシノシタ

【ウシコロシ】 カマツカ *Pourthiae villosa* var. *laevis*

バラ科カマツカ属。本州暖地の山に見られる。カマツカは「鎌柄」。材質が硬く丈夫なため牛の鼻に綱を通す穴を開ける際に使われたことから「ウシコロシ」と呼ばれる。花は白色。実は小さくて赤色。クロウメモドキ科のクロツバラもウシコロシの別名がある。



ウシコロシ

緑の相談受付 10:00~12:00、13:00~16:00

☆豊平公園 811-9370 月曜以外毎日

☆百合が原公園 冬期は受け付けておりません

☆平岡樹芸センター 冬期は受け付けておりません

【ウシチチノキ】 ミルクノキ、チチノキ

Brosimum galactodendron

クワ科ウシチチノキ属。南米ベネズエラのカラカス地方の高山性の常緑喬木。高さ 15~30m。葉は被針形、革質で、長さ 30cm、幅 10cm。果実は球形。樹幹の傷口より出る液は牛乳のような甘みがあり、煮詰めると最上のロウソクの原料になると言われる。



ウシチチノキ

【ウシヤナギ】 バッコヤナギ、ヤマネコヤナギ

Salix bakko

ヤナギ科ヤナギ属。北海道、本州、シベリア、欧州に分布するヤナギの一種。高さ 10m。材は軟らかく木目が出ないので器具材として利用される。また、乾燥地で良く育つので砂防用として植栽される。「バッコ」は方言の「ベイコ」の意からで、牛が好んで食べる事から。



ウシヤナギ

【ウシノヒタイ】 ミゾソバ *Persicaria thunbergii*

タデ科タデ属。日本各地の原野、道端の水辺などに群生する一年草。草丈 30~70cm。稈に沿って逆刺があり、花は花弁を欠き、がく片は淡紅色。葉の形が牛の額に似るところから名づけられた。



ウシノヒタイ

【ウシノケ】 ウシノヒゲ、マツバイ

Eleocharis acicularis f. *longiseta*

カヤツリグサ科ハリイ属。日本各地の水田、湿地に繁茂する多年草。根茎は糸状で泥中を横に這い、節からヒゲ根を出す。葉も糸状で 3~6cm ほどの長さの毛のような外見で、漢名を「牛毛氈」という。水田の厄介な雑草。



ウシノケ

【ウシクサ】 *Andropogon brevifolius*

イネ科ウシクサ属。関東以西~九州の山野の湿地に群生する一年草。茎は束生し 15~30cm。花は夏~秋。3cm の小穂は穎に芒(ノゲ)がある。ウシクサの名はあるが利用価値は特にない。



ウシクサ

あけまして
おめでとうございます

◆正月を飾った松竹梅 花後の管理

正月を飾った松竹梅のウメやフクジュソウは2週間ぐらいで花は咲き終わります。そのまま室内に置くと新芽が芽吹いてきますが、冬期は日照不足のため徒長し樹形が乱れ、樹勢が衰え、翌年に再利用ができなくなります。

花後の剪定

ウメは咲き終わったら開花枝は2~3節を残して上は剪定して、樹形を整えながら、樹高を2/3~3/5ぐらいに切り詰めます。

植え替え

ウメの剪定が終わったら寄せ植えにした植物を別々に、根鉢を崩さないように掘り上げ、それぞれの植物の大きさにあった駄温鉢に赤玉土で植え替えます。

置き場所

庭に積もった雪に、鉢が納まるくらいの大きさの穴を地面まで掘ります。植え替えの終わった鉢を地面に押し付けるように並べ、細かく碎いた雪で穴が埋まるように覆い、雪解けまで積雪下で越冬させます。寄せ植えのまま積雪下で越冬させても差し支えありません。マンションなど庭のない場合はベランダなどで大きめの発泡スチロールの箱などに入れて雪で覆っておいても越冬させることができます。

◆雪の色々

北海道の冬は寒く、そして雪が降ります。今年もまた冬がやってきましたが、園芸愛好家の皆さんには植物を大事に保護し、また春からの花の季節に備えていいことでしょう。ここでは、春の園芸作業をスタートする前のひととき、ちょっと寒い屋外に目を向けて、冬の間の植物と雪の関りについて考えてみます。

雪と温度

雪とは、水が冷えてできるものですから、当然冷たいものです。それでは、冬の間中を雪に覆われている植物達は、さぞやごえていることでしょう…。

いえいえ、実は雪の下はとても暖かいのです！

札幌の1~2月の最低気温の平年値がおよそ-8℃、3月がおよそ-4℃ほどですが、積雪下の地面との境目辺りの温度は、冬中を通して0℃前後です。これは、雪が保温の役目をしているため、おかげで雪の中の植物達は冷たい外気から守られているのです。雪の少ない関東地方では寒くて栽培できない植物も、はるか北の雪国では栽培可能という例（アガパンサス等）も少なくありません。

ただし、背の高い植物のうち、耐寒性がギリギリなものは、雪面より上に伸びた

部分だけ枯れてしまうこともあります。そのような場合は厳重に冬囲いをしてあげましょう。

雪の重さ

寒空をフワフワと綿毛のごとく舞い降りる雪ですが、実は想像以上に重いものです。最初はフワつとした雪も、積もっていくと、上から積もってきた雪に押し潰されて締まっていきます。乾いた新雪では密度が0.1g/cm³程度ですが、次第に締まって0.3~0.5g/cm³程度にまで密度が高くなります。1mの積雪では、1m²あたりの雪の重さは300~500kgほどにもなるわけです。これを単純計算で仕立物のマツに当てはめると、枝先が直径50cm程度の円形と考えると、雪が20cm積もればおよそ4kgとなります（図①）。この積もった雪に日が当たって融け、また寒さで凍り、次第に密度が高くなっていきますから、一本の枝にかかる重さは相当なものです。

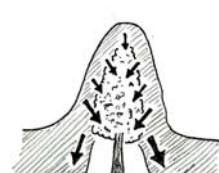
また刈り込んで低く仕立てている庭木などでは、全体が雪に覆われると、単純に雪の重さだけではなく下の雪に引っ張られたりするために想像以上の荷重がかかります（図②）。

このような場合は雪囲い、雪吊りをしていても油断せず、冬の間も時々雪下ろしをしてあげるのが望ましいでしょう。



※ 実際には雪の密度は日照や風の影響により均一ではありません。記載の重量はあくまでも目安です

① 枝に乗った雪の重さ



② 木にかかる雪の荷重

1月～2月上旬の催しのお知らせ

豊平公園緑のセンター 豊平区豊平5条13丁目 TEL 811-6568

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
園芸教室				
シンビジュムの育て方	1/25 (日)	13:30～	1/11～	無料
展示会				
アザレア展	2/17 (火)～3/1 (日)			
クラフト講習会				
アレンジ押花講習会「ギフトボックス」	1/23 (金)	10:00～	1/11～	1,500円
アレンジ押花講習会「おひな様」	2/20 (金)	10:00～	2/11～	1,500円

百合が原緑のセンター 北区百合が原公園210 TEL 772-3511 <http://www.sapporo-park.or.jp/yuri/>

展示会	日	料金
市民ラン展	1/20 (火)～25 (日)	130円
アザレア展	2/10 (水)～3/8 (日)	〃
クリスマスローズ展	2/17 (火)～3/1 (日)	〃

その他の公園

公園	イベント	日	お問い合わせ
西岡公園	子りす工房 1月～おとなの日～ 大きな鹿	1/15 (木)	西岡公園 011-582-0050
川下公園	まつぼっくりアート講座 まつぼっくりと丸太でお絵かき	1/17 (土)、18 (日)	川下公園 011-879-5311
〃	まつぼっくりアート講座 まつぼっくりでお雛様を作ろう	2/7 (土)、8 (日)	〃
豊平川さけ科学館	木工さかな工房 ドアプレート作り	1/18 (日)	豊平川さけ科学館 011-582-7555

冬のまちにスノーキャンドルの灯りをともそう！

2009/1/17(土)

「冬の公園をもっと活用しよう！」、「冬の災害について考えよう！」、「地域のコミュニケーションをはかろう！」というコンセプトで、2003年から開催されている、北のまち札幌ならではの素敵なお祭りに、豊平公園と百合が原公園は今年も参加します。16時30分頃に一斉点灯しますので、お近くにお住まいの方は是非遊びに来てください！

冬のまちスノーキャンドル実行委員会 http://park.geocities.jp/sapporo_cndl/